

🌸背景が違う、年齢が違う、性別が違うといったいろいろな人が集まって、多様な意見を戦わせながら、一つの結論に導いていくということが、これからは特に大事だと思いました。



全体的な感想

🌸すごく良い人生経験になりました。

🌸裁判の話題に触れる度に、自身が経験した裁判員裁判を振り返っています。そうすることで、より理解が深まる気がします。

🌸評議の場では、合意形成がすごく丁寧に行われていると感じました。個人の判断が尊重される中で、話し合いが行われていると思いました。

経験者のみなさまの、ご意見・ご感想・メッセージを紹介します★



R5.2.13 静岡地方裁判所
裁判官・検察官・弁護士と
裁判員等経験者との
意見交換会
開催しました



若いみなさんへ

🌸若いうちに裁判員を経験すると、その後の影響期間が長し、社会にも良い影響を与えたいと思います。

🌸若い方には積極的に参加してもらいたいです。



守秘義務について

🌸守秘義務については、最初に説明を受けたとき、「ああ、こんなにしゃべってもいいんだ」と思いました。

🌸説明を受ける前は、裁判員裁判については一切話してはいけないというイメージがありましたが、法廷でのやりとりは話していいということだったので、全く負担に感じませんでした。

🌸「人生経験も無いのにきちんと判断できるのか」という心配を若い方はするかもしれませんが、経験から結論を導くというよりは、一人の人間として事案に向き合っ、その人の考えに基づいて結論を出していけばいいのだと思います。



評議について

🌸話し合いが

しやすかったです。

🌸私たちが裁判官に教わる

という感じではなくて、裁判長に他の裁判官が質問をしたり、一緒に考えてくれたり、意見を否定せずにくみ取ってくれたりして、間違っただけを言ってもいいんだという雰囲気がありました。

🌸裁判員同士が率直に

意見を言い合える環境を作っていただいたので、他の裁判員の意見に引きずられることなく、発言することができました。

🌸各人の意見を集約する

プロセスというのは、私たち会社員にとっても参考になりました。良い経験になりました。

🌸オープンでフラットな形で評議がされていると思いました。



🌸会社では責任のある者が物事を決めていきますが、審理を尽くして、最終的にはみんなで決めるというプロセスが、今の社会において重要な決め方だと思いました。

🌸周囲の人にも、声が掛かったら必ず受けた方がよいと話しています。

ご参加くださった

皆さん、

ありがとうございました!!

🌸意見集約は付箋を

使って行われました。

🌸順番に発言をさせると、

最初に発言した人に意見が引きずられたり、論点が同じ方向に行ってしまったたりすると思いますが、みんなで一度に意見を書いた付箋を貼ることで、多様な意見が整理されないままに出されます。

🌸最初からいろいろな

論点の意見を出すというやり方は非常に良かったと思います。

🌸裁判長もあえて誘導

せずに、個人の意見を尊重したまま議論を進めてくれました。

